

| | | |
|----------|-------|------------|
| 「情報技術基礎」 | 単位数 | 2単位 |
| | 学科・学年 | 工業化学科・第1学年 |

1 学習の到達目標等

| | |
|------------|---|
| 学習の到達目標 | 1 コンピュータの基本操作や構成に関する知識と技術を身に付ける。 2 論理回路や周辺装置などに関する知識と技術を身に付ける。 3 情報活用のモラルや著作権の保護など情報の管理ができる。 4 知識・理解の到達度の目安として、計算技術検定3級・情報技術検定3級の合格を目指す。 |
| 使用教科書・副教材等 | 精選情報技術基礎 (実教出版) |

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

| 学期 | 学習内容 | 月 | 学習のねらい | 考查範囲 |
|---------|---|----|----------------------------|------|
| 1 学期 | 1 電卓の基本操作 2 計算技術検定 3 現代社会とコンピュータ 4 コンピュータの基本操作 | 4 | 電卓の基本操作ができる。 | 中間 |
| | | 5 | 四則、関数、実務の演算が時間内にできる。 | |
| | | 6 | 情報技術の進展を事例を通して理解する。 | 期末 |
| | | 7 | コンピュータのハード・ソフトウェアの役割を理解する。 | |
| 2 学期 | 5 BASICによるプログラミング 6 ハードウェア 7 情報技術検定 | 8 | 問題集により自主的な学習を進める。 | 中間 |
| | | 9 | 流れ図の基本を理解する。 | |
| | | 10 | 四則計算、文字データのプログラムが作成できる。 | 期末 |
| | | 11 | 分岐、繰返し処理のプログラムが作成できる。 | |
| | | 12 | 情報技術検定3級の内容が理解できる。 | |
| 3 学期 | 8 データ通信・コンピュータ制御 9 コンピュータの歴史と活用 10 情報の管理 | 1 | インターネットの仕組み、機器の特長を理解する。 | 学年末 |
| | | 2 | ハード・ソフトウェアの歴史と産業界での実例を学ぶ。 | |
| | | 3 | ウイルスや不正使用等の情報倫理を理解する。 | 期末 |

(2) 評価の観点及び内容

| | |
|--|--|
| 関心・意欲・態度 | <ul style="list-style-type: none"> 情報に関する基礎的な知識・技術を持っている。また、意欲的に取り組む。 情報技術を実際に役立てようとしている。 |
| 思考・判断・表現 | <ul style="list-style-type: none"> 情報及び情報手段を活用する能力を身に付けている。 自ら考え、工夫する能力を身に付けている。 |
| 技能 | <ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて合理的に計画し、適切に処理することができる。 学習成果を的確にわかりやすく表現できる。 情報技術を利用した収集・活用の技能を身につけている。 |
| 知識・理解 | <ul style="list-style-type: none"> 情報の意義や役割を理解しているか。 情報の基本知識を身に付けているか。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 成績評価は、定期考査、ノート提出、授業中の態度を見ることにより総合的に評価します。 学年末の成績は、1年間の提出物・授業態度や定期考査の点などをもとに総合的に判断します。 | |

3 確かな学力を身につけるためのアドバイス

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> これからの情報社会において、確実に身に付けるべき学習内容です。意欲的に授業に取り組みましょう。 課題等の提出は必ず期日を守ってください。 実習でコンピュータを操作することにより、さらに理解を深めることができます。 |
|--|